

最強の投資手法「スパンモデル」「スーパーボリンジャー」によるシンプルトレード

ドル円、ユーロドル、ユーロ円、豪ドル円、ポンド円に関して、今後 1 週間程度の相場予測として、「日足スーパーボリンジャー」と「週足スーパーボリンジャー」に限定した、簡単な分析・解説を掲載します。

日足や週足のスーパーボリンジャーは、主に、デイトレード・スイングトレードの大局観の把握や、ポジショントレードの売買判断に用います。分析は、全て、先週末 6 月 9 日終値時点での判断です。内容は、私の有料情報サービスからの一部抜粋です。(尚、本レポートでは、スパンモデルに関するレポートは省略している点、ご了承ください)

さらなる詳細分析やその他の通貨ペアの分析・解説(リアルタイム動画解説を含む)は、こちらをお勧めします。「マーフィーの有料メルマガ & 掲示板」 <http://www.eagle-fly.com/mur/>

■ドル円

1) 日足スーパーボリンジャー

<<大局観>>

レンジ相場

<<分析>>

遅行スパンは陰転継続しており、基調として、ドル売り優勢を示しています。目前、レンジ相場の地合いにあり、センターラインを上値目途、-2σラインを下値目途とするレンジ相場と判断します。バンド幅が収束傾向にあり、ドル底堅さを示唆しています。

2) 週足スーパーボリンジャー

<大局観>

レンジ相場

＜分析＞

遅行スパンは陰転しており、基調として、ドル売り優勢を示しています。目先、センターラインと-2オーラインの間でのレンジ相場と判断します。遅行スパンが、横ばい傾向となっているローソク足の影響を受けて、もみ合い相場に入る可能性を示唆している点、注目です。目先、方向感のない往来相場となる可能性が高いことを示しています。

■ユーロドル

1) 日足スーパーボリンジャー

＜大局観＞

調整のユーロ反落局面、ユーロ緩やかな上昇トレンド

＜分析＞

遅行スパンは陽転継続しており、引き続き、ユーロ買い優勢を示しています。日足終値が+1オーラインの下方で推移していることで、調整のユーロ反落局面入りしていると判断できます。一方、終値がセンターラインをキープするかぎり、緩やかな上昇トレンドとも読みます。

2) 週足スーパーボリンジャー

＜大局観＞

ユーロ本格上昇トレンド継続中

＜分析＞

遅行スパンは、陽転継続しており、ユーロ買い優勢を示しています。週足終値が+1オーラインの上方を推移し続け、バンド幅の拡大傾向が続くかぎり、引き続き、ユーロ本格上昇トレンドと判断します。尚、週足終値が+2オーラインの下方で引けていることで、「走る相場」は一旦終了していることが見てとれます。したがって、ようやくユーロ反落のシナリオも出てきた格好です。

■ユーロ円

1) 日足スーパーボリンジャー

＜大局観＞

レンジ相場

＜分析＞

遅行スパンはローソク足に絡み、レンジ相場を示しています。目先は、バンド幅も収束していることで、センターラインと-20ラインの間をコア(中心)レンジとするレンジ相場と判断します。

2) 週足スーパーボリンジャー

＜大局観＞

レンジ相場継続中

＜分析＞

遅行スパンはローソク足に絡んで推移しており、レンジ相場を示唆しています。目先、+20ラインとセンターラインの間でのレンジ相場と判断します。遅行スパンが陽転しつつもローソク足に絡んで推移している点、引き続き注視したい場面です。尚、週足スパンモデルでは、赤色スパンの逆行パターンの売りサインが点灯している点、引き続き注目です。

■豪ドル円

1) 日足スーパーボリンジャー

＜大局観＞

レンジ相場

＜分析＞

遡行スパンは陰転しつつもローソク足に絡んで推移しており、レンジ相場を示しています。目先、+2のラインを上値目途、-2のラインを下値目途とするレンジ相場と判断します。

2)週足スーパーボリンジャー

＜大局観＞

レンジ相場

＜分析＞

遡行スパンは、陰転継続しており、基調として、豪ドル売り優勢を示しています。尚、週足終値が-1のラインの上方で引きていることから、レンジ相場に入った可能性が高いと判断します。目先、豪ドル底堅く推移し、センターラインと-2のラインの間でのレンジ相場と読みます。

■ポンド円

1)日足スーパーボリンジャー

＜大局観＞

下落バイアスを伴ったレンジ相場、ブル・ベアの分岐点

＜分析＞

遡行スパンは、陰転しており、ポンド売り優勢を示しています。日足終値が-1のラインの下方で引け続け、バンド幅の拡大傾向が続くと、ポンド本格下落トレンド入りする可能性が高まります。一方、

—20ラインがサポートとなっていること、バンド幅が収束傾向にあることから、依然としてレンジ相場の地合いが強いとも読みます。

2)週足スーパーボリンジャー

＜大局観＞

レンジ相場継続中

＜分析＞

遅行スパンは、ローソク足に絡んで推移しており、引き続き、レンジ相場を示唆しています。目先、+10ラインと-10ラインの間でのレンジ相場と判断します。尚、遅行スパンが、ローソク足が高値を付けたタイミングを通過して以降、ローソク足に沿って下落してきましたが、目先、ローソク足が横ばい傾向になることから、膠着気味のレンジ相場の地合いが強まると言えます。

■「マーフィー無料FX講座」のお知らせ

<http://www.span-model.com/ji/>

短期間でエッセンスを学べる無料コースとなっておりますので、ぜひお試し下さい。

■「無料メルマガ」のお知らせ

<http://www.span-model.com/mailmaga.html>

相場と友達になる手法を無料レポートで公開中です。

以上です。